

## 2. 『とりかいこども園について』

### 令和4年第2回6月議会一般質問 議事録

#### 【1回目】質問

2つ目のとりかいこども園について。

とりかいこども園は、令和3年4月より、とりかい幼稚園と鳥飼保育所が統合し、認定こども園へと移行しました。移行後、1年が経過しましたが、どう評価しているのか？お聞かせ下さい。

#### 【1回目】答弁

近年、女性の就業率の増加などから、保育ニーズが増加する半面、幼稚園ニーズが減少、鳥飼地域の人口減少もあり、とりかい幼稚園は一定規模の集団の確保が困難となっておりました。このことから、令和3年4月に鳥飼保育所ととりかい幼稚園を統合し、令和3年4月に幼保連携型認定こども園として開園いたしました。

認定こども園は、保護者の就労といった家庭環境にかかわらず、教育・保育を一体的に提供する施設であり、同じ年齢の多様な環境の子どもたちが一緒に過ごすことは、子どもたちの成長にとっても望ましいと考えております。

とりかいこども園では、これまでのべふこども園での幼保一体化の取組み実績を踏まえつつ、鳥飼保育所で培ってきた縦割り保育と、とりかい幼稚園における学年別保育を融合させ、とりかいこども園としての新たな教育・保育内容に取り組んでおり、保護者アンケートにおきましても一定の評価を受けているものと認識しております。【次世代育成部長】

#### 【2回目】質問

続きまして、2つ目のとりかいこども園について、に移ります。

移行後の評価をお聞かせ頂きました。

とりかいこども園は、鳥飼まちづくりランドデザインにおいても、高台まちづくりとして示され、児童センター設置と併せて、建て替えが計画されています。改めて、その構想についてお聞かせ下さい。

#### 【2回目】答弁

とりかいこども園は、旧鳥飼保育所の園舎を活用して教育・保育の提供しておりますが、昭和46年の建築であり、老朽化が進行しております。

一方、鳥飼ランドデザインにおきましては、とりかいこども園が立地するエリアについて、防災や地域福祉などが課題とされていることから、老朽化するとりかいこども園の園舎の建て替えに併せて、高台化と児童センター機能やつどいの広場機能の整備についても示されているところです。子どもは地域とともに育まれていきます。核家族化や地域のつながりが希薄化する中で、地域社会と接点を持つ活動や子どもを中心とした地域の関係づくりが重要となります。

高台化するとりかいこども園では、認定こども園機能に加え、子育て世代が交流し、子どもたちが集える賑わいの場として、地域の子育て支援拠点となるよう検討しているところでございます。【次世代育成部長】

## 2. 『とりかいこども園について』

### 【3回目】質問

構想を理解しました。

とりかいこども園は、高台化の一環であり、河川防災ステーションも近接される予定です。水害時の一時避難場所の確保も高台化の目的の一つですが、とりかいこども園は、どう位置付けられるのか？お聞かせ下さい。

### 【3回目】答弁

鳥飼地域におきましては、淀川や安威川の想定最大規模の洪水が発生した場合にでも利用できる緊急避難場所は現時点ではほとんどなく、避難スペースが絶対的に不足しており、鳥飼地域を含めた市民に対して、できるだけ早めの広域避難をお願いしているところでございます。

この度、河川防災ステーションを国が整備することとなりましたが、その近接にある「とりかいこども園」も老朽化による建て替えを検討していたため、とりかいこども園についても高台化を検討しているところでございます。

高台まちづくりの考え方は、水害の発生が想定される時は、できるだけ早期に浸水しない安全な場所へ避難する広域避難が基本となりますが、広域避難が難しい方々に対しまして、水害時でも最低限、生命と身体を守ることができる場所をまちづくりと一体となって確保しようとするもので、いざというときはそこに一時的に避難していただくようお願いしたり、逃げ遅れて救助を待っている方の救助・救出の拠点として活用したりすることを想定いたしています。

とりかいこども園については、河川防災ステーションとその上部施設との連携、こども園としての機能特性を考慮し、どのような避難者を対象とし、水害時にどのような機能や役割を保持すべきか検討を行っているところでございます。

とりかいこども園が、河川防災ステーションと一団の高台として整備されれば、地域住民の安心に大きく寄与するものになると考えております。【市長公室長】

### 【4回目】質問

地域住民の安心に寄与すべく、位置付けられるものと理解しました。

高台化するには、大規模な工事が予想されます。工事期間中、園児や密接する小学校児童への影響をどの様に想定しているのか？その回避策についてもお聞かせ下さい。

### 【4回目】答弁

この度の建替え工事につきましては、継続して教育・保育の提供できるよう、旧とりかい幼稚園の敷地において園舎を解体・撤去した後に、全体を活用し、新園舎を建築することを想定しております。

しかしながら、解体撤去工事、建築工事となりますことから、振動や騒音の発生を防ぐことはできません。工事が長期間にわたることが想定されますことから、教育・保育の提供に対する影響を可能な限り軽減できるよう、今後行ってまいります実施設計において振動や騒音対策を盛り込むとともに、施工段階においてもこども園や小学校と協議しながら進めてまいります。【次世代育成部長】

### 【5回目】質問

影響を最小限に留めるものと理解しました。

とりかいこども園の前面道路は狭隘道路となっており、車のすれ違いも困難です。平時の安全は

## 2. 『とりかいこども園について』

もとより、災害時の避難場所である鳥飼西小学校への経路としても十分ではなく、地元からも多くの改善要望を聞いています。

建て替えに合わせて、道路を拡幅し、歩道も再配置すべきと考えますが、見解をお聞かせ下さい。

### 【5回目】答弁

とりかいこども園の前面道路は、車道の幅員が4m前後となっており、車のすれ違いも難しくなっております。また、幅員2m前後の中に電柱が設置されている歩道は、とりかいこども園への通園ルートであるとともに鳥飼西小学校の通学路ということを考えますと、この度の園舎建替えに併せた改善が必要であると考えております。

一方、災害が発生した場合、鳥飼西小学校は避難所に指定されていることから、市道新在家鳥飼中線から避難所までの重要な避難経路となります。

平常時と災害時を想定した安全な道路環境を整備するため、とりかいこども園の建替えに合わせた前面道路の車道及び歩道拡幅について、建設部と協議を進めているところでございます。【次世代育成部長】

### 【6回目】

安全担保の為、是非、具現化をお願い致します。

とりかいこども園の高台まちづくりとしての位置付けを明確に示した上で、魅力ある地域の子育て支援拠点となるよう、また、地域に親しまれる施設となるよう、取り組まれることを要望と致します。